

最近の雇用失業情勢（令和7年12月の内容）

1 県内概況

「有効求人倍率は1.27倍（季調値）」（前月から0.03ポイント低下）

[概況]

- 「雇用情勢は、改善の動きが弱まっている。物価上昇等の影響に十分注意する必要がある。」
- 有効求人倍率は前月から0.03ポイント低下。

[基調判断]

- 《情勢維持》

[判断根拠]

- 有効求人倍率が低下しているが、一時的な動きかも含めて、今後の状況を注視する必要があるため。

2 各指標の動向

新規求人数は4,098人、製造業、建設業等で増。公務・その他、宿泊業・飲食サービス業等で減。

[新規求人数]

当月：4,098人 公務・その他、宿泊業・飲食サービス業等の減員により－619人（前年同月 13.1%減）

[産業分類別]

- 「増」（対前年同月比）
 - 【製造業】当月：484人 前年同月：+37人
 - 【建設業】当月：420人 前年同月：+19人
- 「減」（対前年同月比）
 - 【公務・その他】当月：213人 前年同月：－204人
 - 【宿泊業・飲食サービス業】当月：238人 前年同月：－90人
 - 【卸売業・小売業】当月：642人 前年同月：－143人
 - 【運輸業・郵便業】当月：183人 前年同月：－39人

[地域別求人倍率]

【鳥取所】当月：1.23倍 前年同月：－0.09P
 【米子所】当月：1.46倍 前年同月：－0.11P
 【倉吉所】当月：1.52倍 前年同月：+0.14P

[正社員関連]

有効求人倍率 1.18倍（14か月連続で前年同月を上回る）
 →全国指標1.06倍（5か月連続で前年同月を下回る）

[新規求職者数]

当月：1,632人（前年同月5.4%増）